

## 第 7 回古川西部地区学校教育部会報告書

開催月日	令和 3 年 1 1 月 2 4 日（水）午後 3 時 0 0 分～午後 4 時 4 5 分
開催場所	古川西中学校 パソコン室
出席者	<p><b>【相手方】</b></p> <p>古川西部地区学校教育部会員 9 名  古川西中：藤島部会長，佐藤部会員  西古川小：遠藤部会員，工藤部会員  東大崎小：菅野部会員，川嶋部会員  志田小：佐々木部会員，鈴木部会員 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">欠席</span>  高倉小：本林部会員，佐藤部会員</p> <p><b>【大崎市教育委員会】</b> 4 名  鈴木係長，佐藤主査，玉水指導員，平山主事</p>
概 要	<p>1 開会</p> <p>2 開会の挨拶</p> <p>3 協議事項（進行：藤島部会長）</p> <p>（1）「古川西小中学校」の教育課程編成について・・・＜資料 1＞</p> <p style="padding-left: 20px;">I 学校教育目標，校訓</p> <p style="padding-left: 40px;">1 目指す児童生徒像</p> <p style="padding-left: 40px;">2 目指す教職員像</p> <p style="padding-left: 40px;">3 目指す学校像</p> <p style="padding-left: 20px;">II 学校経営基本方針</p> <p style="padding-left: 20px;">III 重点努力事項</p> <p style="padding-left: 40px;">1 確かな学力の育成</p> <p style="padding-left: 40px;">2 豊かな心の育成</p> <p style="padding-left: 40px;">3 健やかな体の育成</p> <p style="padding-left: 40px;">4 家庭や地域とともに歩む学校づくりの推進</p> <p>（2）「古川西小中学校」のグランドデザイン」について・・・＜資料 2＞</p> <p>（3）編成に当たって・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・＜資料 3＞</p> <p style="padding-left: 20px;">①学校行事</p> <p style="padding-left: 20px;">②総合的な学習の時間</p> <p style="padding-left: 20px;">③体験学習の充実</p> <p style="padding-left: 20px;">④伝統芸能</p> <p style="padding-left: 20px;">⑤「西学」「西志塾」</p> <p>（4）備品の整理について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・＜資料 4＞</p> <p>（5）保健関係について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・＜資料 5＞</p> <p>4 その他</p>

5 閉会

・・・・・・・・・・・・・・・・・・《以下詳細》・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 「古川西小中学校」の教育課程編成について

(2) 「古川西小中学校」のグランドデザインについて

◆事務局説明内容<資料1><資料2>

- これまで古川西部地区校長会で検討を進めてきた古川西部地区統合校（古川西小中学校）の学校経営方針が概ねまとめられ、資料1としてお示しした。これからこの骨子に基づき詳細を具体化していくことになる。
- 「Ⅰ学校教育目標」の校訓について、前回の部会で3つがいいのではないかというご意見をいただいた。その旨、校長会に伝えご協議いただいた。結果として校長会では『友愛』『創造』、この2つでいきたいということでもまとまった。
- 「Ⅱ学校経営基本方針」については変わったところはない。
- 「Ⅲ重点努力事項」については大きく変わったところがある。校長会において、『志』『夢』という言葉を入れ込み前面に出していきたいということになった。その想いを重点努力事項の前文として記載した。
- その他細かい修正はあるが、大きく変わったところはない。
- 資料2の学校経営グランドデザインについても、学校経営方針の変更による軽微な変更のみで大きく変わったところはない。

◇藤島部会長（西中）

- 事務局より「学校経営方針」と「学校経営グランドデザイン」について、ほぼ確定に近い暫定案ということで資料を基に説明があった。ご意見等あれば、校長会にお伝えしていくということにしたい。

◇遠藤部会員（西古川小）

- 「学校教育目標」の「やさしく かしこく たくましく」の部分について、学校経営方針の重点努力事項では「1 確かな学力の育成 2 豊かな心の育成 3 健やかな体の育成」となっている。  
「やさしく」＝「2 豊かな心の育成」  
「かしこく」＝「1 確かな学力の育成」  
「たくましく」＝「3 健やかな体の育成」  
とするならば、どちらでもよいので並び順を変えて揃えた方がよいと考える。

◇藤島部会長（西中）

- 今後、これをベースとして協議を進めていくことになる。皆さんよろしく願います。

### (3) 編成に当たって

#### ◆事務局説明内容<資料3>

- 年間行事予定については、校長会でも多くの時間をかけて協議した部分。学校教育部会として吟味をお願いします。
- 校長会でも現時点では1学期分までしか協議できていない。まずはここまで皆様にご協議いただきたいと思う。
- 「始業式・入学式」について、校長会でも同一日にするか別日にするかで意見が割れた。校長会での意見としては「人数が少ないのだから別日にする必要はないのではないか」「初日に在校生を登校させ、午後から入学式というのは教員の対応も含めて難しいのではないか」などが出た。また、当日メディアの取材が予想されるため、義務教育学校としての理念が入学式で表れる形にしたいというのが校長会の意向としてある。いずれの場合にしても具体については部会で協議いただくことになるのでよろしくをお願いします。
- 「授業参観」については、4月、7月、12月、2月として、その間に1回、フリー参観を入れることで協議をお願いします。なお、4月は総会もやることになる。ちなみに、年度末に総会を開催している学校があれば教えていただきたい。

※西古川，東大崎

- 「部活動」について、顧問は7・8・9年生の担当教諭のみ。それ以外の学年担当教諭で「どうしてもやりたい」という教諭がいた場合、校長命で「副顧問」または「コーチ」という位置づけ、「特殊業務手当」で対応とすることで考えている。児童生徒については、6年生のタイミングで体験入部等を行い年度内に入部する部活を決定する方向で検討をお願いします。関連して、令和5年度の部活動所属の在り方の検討をお願いしますことになるが、これは小学校の先生方では話し合いが難しいと思うので、部会長校で検討いただくことになる。

#### ◇藤島部会長（西中）

- まずは4月までの行事について協議を行う形で進めたい。皆様からご意見をお願いします。

#### ◇遠藤部会員（西古川小）

- 本校では始業式を行い、その後児童を下校させ、午後から入学式を行っているが、時間的に余裕がなく厳しいというのが実情。しかし、新1年生に長時間は無理なので、入学式を45分など短時間にし、午前中に始

業式と入学式を行う形がとれるのであれば同日開催も可能なのかなと思う。

◇菅野部会員（東大崎小）

○本校も同日開催しているが、正直、慌ただしいと感じている。私自身が教務主任として今年着任したということもあるかもしれないが、披露式をし始業式をし入学式をするというのは、初日から落ち着かない感じになると思う。別日にできるのであれば、落ち着いて行事をこなせると個人的には思う。

◇遠藤部会員（西古川小）

○別日にする良さとしては、2年生～9年生までがその日にじっくり学級開きができるということがある。

◆事務局（玉水専門指導員）

○参考として、校長会ではスクールバスを懸念する声もあった。開校前に事前当校という形でスクールバスに乗って登校する練習はするが、初日にスクールバスに乗った乗らないといった事などに対応することを考えると、先生方が大変ではないかという思いはある。

◇藤島部会長（西中）

○中学校では、1日入学の日が実質的にスクールバスの練習となる。始業式と入学式は同日開催で、午後から入学式を行っている。

◇佐々木部会員（志田小）

○本校は同日開催となっている。人数も少ないのでコロナの前は子ども達が入学式に参加して歓迎するなど学校全体で式にあたっていた。今は子ども達を残せないなので、在校生を入れず一部の保護者で入学式を行っている。統合校のこととして考えると、スクールバスの件などもあり同日開催についてはどの程度できるのか想像できない。

◇藤島部会長（西中）

○出た意見を総合すると、どちらかというと同日開催は難しいということになると思う。事務局を通じ部会の考えとして校長会へ伝えていく。

○次に授業参観についてご意見を願います。

◆事務局（玉水専門指導員）

○先生方の認識として、授業参観＝学年PTA（場合によっては学級懇談も行う）ということでよいか確認したい。

◇本林部会員（高倉小）

○中学校での学年PTAとはどのようなものか。

◇藤島部会員（西中）

○コロナになってからはほぼ開催していない状況。以前の3学期制だったときは7月、12月、2月のタイミングで生徒の様子を伝えたり、行事についての計画をお話して了承をいただいたりしていた。

◇本林部会員（高倉小）

○その内容であれば、小学校では学級懇談会と呼んでいると思う。小学校でいう学年PTAは学校によって開催している、していないはあると思うが、学年で何かを催して授業時間を使いながら親子で何かするというものと認識している。事務局のいう学年PTAとは中学校の学年PTAのことを言っているのか。

◆事務局（玉水専門指導員）

○そのへんのところ（小学校と中学校の学年PTAの認識の違い）があるのかどうかまず確認したかった。学年の保護者が集まったところで学期の様子や行事予定などを学校側でお話しする（学年PTA）。その後クラスに別れて担任と残った保護者で懇談をする（学級懇談）と認識していた。

◇本林部会員（高倉小）

○本校では学年で何かをするということはない。これは学校の規模にもよると思うが。

◆事務局（玉水専門指導員）

○1クラスだと学年＝学級になるということですね。

◇佐々木部会員（志田小）

○学年懇談と学級懇談がある。最初に学年懇談を行い、その後学級懇談を行っている。話す内容によってどちらで話すか決めている。学年PTAというと別日に設定し、親子で何かやるということと認識している。

◇本林部会員（高倉小）

○本校では資料にある時期・回数で授業参観を行っており、フリー参観以外の参観日に学級懇談会を行っている。

◆事務局（玉水専門指導員）

○4・7・12・2月に学級懇談をしているということですね。

◇佐々木部会員（志田小）

○通常は学習参観をしたら学級懇談をすると思う。

◇遠藤部会員（西古川小）

○本校では年度初めと年度末で4月と2月、長期休暇の前ということで7月と12月に授業参観を行っている。フリー参観については水泳記録会の日、なわとび記録会の日、持久走記録会の日を実施している。

4・7・12・2月の授業参観はよいと思うのでフリー参観の部分を協議すればよいと考える。

◇藤島部会長（西中）

○授業参観と学年 PTA の考え方はいろいろというところだが、時期的な部分は共通理解できていると思う。

○それでは「部活動」について協議を行う。小学校の先生方はイメージしにくいと思うが、ご意見を願います。

◇本林部会員（高倉小）

○部活だけではなく他のことにも関係するが、前期・中期・後期の3つに分けて、中期の5・6・7年生の一体感をどのように出すか。大事なことであり難しいことと捉えている。制服を着る着ないであったり、部活をするしないであったり、いろいろなところで6年と7年の差が出てきてしまう中で、中期をどうするかといった時に、方針的なものを明確にする必要があると思う。

◆事務局（玉水専門指導員）

○事務局でも大事な問題として捉えている。システム上、子どもたちの勉強を分ける上での区割りとして、前期・中期・後期としている。しかし、現状として行事等を行う上で前期課程（6年）後期課程（3年）のくくりは外せないという認識になっている。ただ、教育課程を組む上では、言い換えれば勉強を考える上では、4・3・2というくくりで行きましようとなっている。制服や部活は7年生からなど確かに悩ましい部分ではある。

◇藤島部会長（西中）

○学年区分のところでご意見をいただいた。部活動に関しては、中体連という組織があるため、中総体となると中学生というくくりでの出場となる。なお、現在、大崎市というエリアで地区大会を行っており、新人大会となると、大崎管内ということで枠が広がる形になっている。数年後には地区の再編が予定されており、大崎管内で1つの中体連組織となる見込み。それ以外は、協会や支部ごとに大会が開かれている。吹奏楽など文化部的なところだと夏休み前にコンクールがあるなど学期ごとにコンクールがあるという状況。美術などはその都度案内が来てコンクール等に出品するという流れになっている。西中の現状としては、野球部については古川北中と合同となっており、その他は単独で活動している。ただ、男子テニスは部員が2年生1名、1年生2名の3名となっており団体戦には出場できていない。4月に大会というものもあるので、6年生で体験入部をし部活を決めるという案は、部活動からするとスムーズな移行ができると考えている。

◇遠藤部会員（西古川小）

○個人的には、6年生の1月から仮入部という形で部活に参加できるのかなと思う。ただ、スポーツ少年団という考え方をすると6年生でも正式入部していてもよいのかなと思う。スポーツによってはルールが違うものもある（柔道では締め技は小学生なし等）が大会に参加させられればと思う。また、12月の学級懇談の際に、「1月から仮入部という形をとります」という説明が保護者にできると考える。

◇藤島部会長（西中）

○小学校の先生が部活に参加することについては、実際に事案がでたときに検討いただくということにしたいと思う。

◆事務局（玉水専門指導員）

○参考までに閑上小中学校では、当初小学校の先生も全員部活の顧問になるということでスタートしたが、1年で終わったとのこと。金成では最初から中学校相当の先生が部活の顧問をするようにした。令和5年度から義務教育学校になる色麻も同様なので、古川西小中学校も同様の形でスタートするのがよいということになった。

○事務の皆さんに確認したいのが、小学校の先生にも特殊業務手当を出せるかということ。出せるということで確認をとっているが、全てにおいて可能かというところまでは確認していない。

◇佐藤部会員（西中）

○部活動の場合には、教育計画または公務文書に顧問として名前の記載があれば特殊業務手当の支給が可能。一時的なお手伝いというような場合は難しい。年度当初から顧問として名前の記載があることが必要。

◇藤島部会長（西中）

○それでは次に進めていきたいと思う。5月の行事予定について、事務局より説明をお願いします。

◆事務局（玉水専門指導員）

○5月は修学旅行がメインとなる。令和5年度の修学旅行（令和5年度の9年生）は決定しており、2泊3日東京方面、時期は4月下旬から5月中旬、連合体で実施する。小学校の校長先生方から連合体について質問があった。連合体はいわゆる修学旅行列車。いくつかの学校が集まって手続きを行うことで、専用の臨時列車（新幹線）を出してもらうことが可能、かつ費用についても通常の半額になるという乗り方。連合体は、中学1年生の時に決めないといけないということで西中さんに進めていただいている。6年生の修学旅行については、部会から学校管理規則を改正して何とか行けるようにできないかというご意見をいただい

た。その案も考えながら、宿泊体験学習や歴史探検活動を修学旅行とすることができるのかご意見をいただきたい。

◇佐藤部会員（西中）

○修学旅行は6万円程度の補助があるが、宿泊体験学習となると別の補助となる。

◇川嶋部会員（東大崎小）

○宿泊体験学習となると、補助対象が交通費になる。

◇藤島部会長（西中）

○修学援助について助言いただいたが、それを踏まえ6年生も修学旅行にいけるような方向で進めたいということ部会の考えとして校長会へ伝えるということによろしいか。

（部会員了解）

○連合体の関係は、令和5年度の9年生が1クラスになる見込みのため、1月、2月からの計画（準備）で進められるだろうということで、4月末を第一希望とし、中総体まで2～3週間空けるというところで、5月の連休明けとして申込をしている状況。近々結果が出る予定となっている。

○別日の設定となっている、5・7・8年生の宿泊体験学習についてご意見をお願いします。

◇本林部会員（高倉小）

○5年生～9年生まで5年連続で泊りの行事を持つというのは決定なのか。

◆事務局（玉水専門指導員）

○決定ではない。皆様のご意見をお願いしたい。

◇藤島部会長（西中）

○多くの学校では、中学3年生の修学旅行に向けて、中学1年生か2年生の段階で宿泊体験学習を通じて宿泊の訓練をしている。また、自主研修という形でどちらかの学年で仙台に行くなど、段階的に計画して行事を行っている学校が多いと思う。本校は今回校長の意向により絆を深めるというところを大きくして宿泊体験とした。なお、保護者の負担を考えて近場でスクールバスを活用できるところとしている。

◇本林部会員（高倉小）

○現在、5年生で4校合同で花山に行っており、来年も花山の予約をとっている。3回も宿泊体験があると「海」「山」もう一つはどうするか悩む部分がある。同じようなところに2回行く必要はないと考えている。ねらいとそのねらいにあった場所ということで考えなければならないと



思っている。

◇藤島部会長（西中）

○時期によって「海」「山」で出来ることが限られてくる。そういったことを踏まえてのご意見と受け止めさせていただく。

◆事務局（玉水専門指導員）

○確認として5年生の花山は必要か。

◇遠藤部会員（西古川小）

○必要と考える。目指す児童生徒像の中期のところ「共に学び合い、目標達成に向けて努力する児童生徒」とある。それに向けたものとして必要だと思う。

◇藤島部会長（西中）

○これまでの意見を踏まえ、部会としては、5年生で合宿、6年生で修学旅行、7・8年生あたりで宿泊体験（5年生とは違うカテゴリーで内容やねらいを含め検討）や自主研修を行い9年生の修学旅行に繋げていくという考え方で進めるということでもとめさせていただく。

○それでは次に進んで6月の行事について事務局より説明をお願いする。

◆事務局（玉水専門指導員）

○部会長から先ほど話があったが、令和5年度の新人大会から大崎管内の大会になる予定。一部競技においては大会の期間は3日間になる。そして令和6年の中総体から大崎管内大会になる。そうなると出場枠が大きく変わって、代表を決めるために競技日程に1日～3日という幅が出てくる。結論の部分をお話すると、総体、新人戦に限らず、1年生～6年生はカレンダーどおりの授業日と休業日となる。7年生～9年生は2日間大会でとって、2日間の振休。競技によっては、授業日に決勝がある部活が出てくる。今のところ野球とサッカーが該当する。統合してサッカー部ができるかわからないが、野球が決勝に残るとなると1日、該当部のみ大会に参加ということで考えたいと思っていたが、関上小中学校の今年度の教育課程の中では1年生～6年生までの休みが1日多い形となっている。このようにしないよう古川西小中学校では、1～6年生はカレンダーどおり、7～9年生は2日間の総体、あるいは新人大会、その振休として2日間、決勝に残った部については、そこだけ顧問と部員で参加という形にしたいと考えている。壮行式について、校長会の中では、全学年参加という結論になったが、皆様のご意見をいただきたい。

◇藤島部会長（西中）

○中体連関係の行事については、大崎市内だと駅伝以外は全て、土日の開催となっている。そのような形が今後も続くことになれば、事務局案の

とおりに、振休をとって、部活動対応ということになるのかなと思う。今後、中体連関係の会議で決まってきたら、それに合わせて学校側が対応するということになると思う。

○壮行式については、大会があるごとに前々日あたりに、選手紹介や場合によっては個々に意気込みを語るということを行い、選手として参加しない7年生や文化部の生徒に応援してもらおうという流れになる。今年度は6年生に来ていただいた。全学年参加ということについて、小学校の先生方、ご意見をお願いしたい。

◇本林部会員（高倉小）

○1～6年生がカレンダーどおりということは応援には行かないとうことでよいか。応援に行かない児童は壮行式にも参加しなくてもよいのではないかと思う。5年生からも考えたが、応援には行けない。よって7年生からでよいのではないかと思う。

◇遠藤部会員（西古川小）

○従来の小学校、中学校であれば、中期の子どもたちが応援に行くと、その分振休というのはできないと思う。義務教育学校で1年生～9年生になるということを考えれば、例えば前期（1～4年）は壮行会で応援してもらい、中期の5・6年生は当日3時間程度の応援に行くということは可能ではないかと思う。

◇藤島部会長（西中）

○ここはいろいろなご意見があるところだと思うので、意見があった部分を校長会に伝えていくとうことにしたい。ちなみに、中総体関係は市の補助によりバス代等を賄えるので保護者の負担はないようになっている。仮に5・6年生が応援に行くとなれば、市教委でその分の予算確保等が必要になるのではないかと思う。

○次に「校内就学支援委員会」について。各校で実施されていると思うが、案では1年生～8年生までということだが、ご意見等はあるか。

（意見等はなし）

○それでは7月について事務局より説明をお願いします。

◆事務局（玉水専門指導員）

○中総体の県大会は夏休みに入ってから3～4日間。問題は教育相談。校長先生方と話したときに、中学校と小学校での認識の違いがあった。2者面談というと中学校では「生徒と担任」小学校では「保護者と担任」。それを踏まえ資料記載のように時期は夏休みとして、1～4年生が2者面談（保護者と担任）、5～7年生が3者面談、8・9年生も3者面談として考えた。11月の教育相談は1～4年生が2者面談（希望者）、

5～7年生が3者面談（希望者），8・9年生が3者面談（全員）というように考えていた。この部分についてご意見をいただきたい。夏休みに3者面談を行う考えについては，家庭訪問を行わないということが一因になっている。小学校の現状も含めて，家の場所確認を行う必要があるのか，あるいはあいさつを含めた戸口訪問とするのか，ご意見をいただきたい。

◇藤島部会長（西中）

○事務局から教育相談，家庭訪問について説明があった。私立・公立の中学受験なども考慮する必要があるか，2者面談はどのような対応になるのか，居住地確認は必要か等々についてご意見を願います。

◇本林部会員（高倉小）

○確認になるが，1～4年生の2者面談は児童と担任が行うのか。

◆事務局（玉水専門指導員）

○中学校でいうところのチャンス相談のようなイメージ。担任から児童に声かけをしてお話する程度と捉えている。もちろん必要ないということであれば，校長会に部会の意見として伝えていく。校長会でも悩んでいるところ。

◇藤島部会長（西中）

○中学校では夏休みに面談をして，春先に居住地確認をし，教育相談については7・8年生は希望，9年生は受験があるので当然全員ということを進めている。

◇遠藤部会員（西古川小）

○夏休みの面談は，前期・中期・後期をはずして，1～6年生は担任と保護者の2者面談，7～9年生は3者面談というのがよいと考える。居住地確認については4月の学習参観後に本校では行っている。そうすると担任の顔も分かるし，訪問状をポストに投函するだけなので午前中で終わっている。同様の手法とすれば居住地確認もスムーズに行えると思う。

◇佐々木部会員（志田小）

○本校の現状としては，夏休みの面談は基本的に保護者と担任の面談で，児童の学習の様子や生活の様子などについて話している。そこに児童が入って何が変わるのかなという思いはある。進学に関することであれば保護者の口から聞ける。居住地確認については4月の段階で行っている。理由は児童がどこから登校しているのか把握していないと，有事の際に自宅に帰せないし，通学上の危険箇所がないか確認しておく必要があるため。

◇藤島部会長（西中）

○時数の問題もあるので各校苦慮されている部分だと思う。意見としては9年の中で1回は自宅を訪問する機会があってもよいのではないかという点、それぞれ学年ごとに居住地確認が必要ではないかという点、2者面談、3者面談については保護者との面談が必要になるのではないかという点が挙げられたという認識でよろしいか。

（部会員了解）

○それでは9月について事務局より説明をお願いします。

◆事務局（玉水専門指導員）

○9月運動会となる。校長会としては「全学年が一堂に会して実施」「時間は午前中で終了が可能なら」。これは低学年への配慮と事務局では捉えている。ご意見をお願いします。

◇藤島部会長（西中）

○それでは皆さんご意見をお願いします。

◇本林部会員（高倉小）

○小中一貫なので理想としては全学年が集まり実施するのがよいと思う。ただ、徒競走に関して考えただけでも、スタートの間隔など難しい部分があり、また徒競走だけというわけにもいかないことから時間的に難しいと思う。例えば前期の1～4年生は午前中、中期・後期は午後もとした場合でも帰りのスクールバスはどうなるのかという疑問がある。上の兄弟がいて午後も残るという子も出てくるだろうと考えると始まりと終わりは皆同じにするというのがいいとも考える。そうすると、午前中で終わる中身をどうするかということになる。保護者も児童生徒も満足する内容が考えられれば全員参加の午前終了でよいと思う。

◇藤島部会長（西中）

○本校でも今年、体育的な部分、文化的な部分どちらも午前で終わらせる予定で実施したが、時間を超過する結果となり、午後は片付けもできず、教員が片付けを行った経緯がある。時間で区切って実施できるものを学年ごとに考えていただくというようなことが必要になってくると思う。あとは事前の練習時間をどのように確保するのかというところも課題になってくると思う。PTAの協力で子どもたちが閉会式等を行っている間に片付けを進めるなどの工夫をしていけば、ある程度は可能なのかなと感じている。

◇遠藤部会員（西古川小）

○小学校で時間がかかるのは演技（表現）なので、本校では表現を無くし、徒競走と団体種目にした。統合校の場合として考えると、徒競走は全員

ということでよいと思うし、団体種目を前期種目、中期種目、後期種目として設定すれば3つで終わるので12:30終了ぐらいであればなんとか実施可能なのではないかと考えている。後期の子どもたちに大人の手伝いをさせるような取り組みもよいのではと思う。

◆事務局（玉水専門指導員）

○他校の例をお話すると、8・9年生が低学年の子どもたちのお世話を一生懸命やってくれてとても良いという話を聞いている。そういったところで運動会はぜひ一緒にやった方がよいという話が出ている。やってみないと分からない部分もあると思うが、先生方にはぜひ全学年でという方向性で考えていただきたい。

○最後にテストの部分についてお話させていただく。校長会ではやならいわけにはいかないのではという話になっている。ちなみに、中学校では既存（市販）のテストを利用するという考えは全くない。定期テストは必ず教員が作る。定期テストという考え方をなんとか子どもたちに慣れさせることはできないかと考えている。中学生のテスト時期に合わせて実施できないかという話も出ている。小学校の先生がテストを作るかどうかは別として、ご意見をいただきたい。

◇藤島部会長（西中）

○先生方何かお考え等あれば、発言をお願いします。

◇遠藤部会員（西古川小）

○今まで通り1～6年生は単元が終わったごとのテスト（市販）。7～9年生は中間・期末の定期テストがよいと思う。

◇佐々木部会員（志田小）

○1～6年生は単元ごとのテストが基本になると思う。単元をまとめてテストとなると覚えきれない。中学生のテストに合わせるというのであれば、期末テスト付きの業者テストがあるのでそのテストを活用し同時期に実施するのは可能と思う。

◇藤島部会長（西中）

○それではここまで1学期分ということでご協議いただいた。貴重なご意見をいただき感謝する。今回の内容を校長会で再度ご協議いただいたり、2学期分の内容についても次回会議で協議することになる。引き続きご協力をお願いします。

**（4）備品の整理について**

◆事務局説明内容＜資料4＞

○備品関係については、現在、事務の先生方を中心に進めていただいている。

る。資料は西中の佐藤部会員にまとめていただいたものとなる。佐藤部会員からこのことについてお話しいただければと思う。

◇佐藤部会員（西中）

- 市の備品システムから各学校ごとのデータを抽出し、各校に配付している。このデータをもとに各校で一般備品と教材備品の区分けの確認を行っている。
- その上で、必要になるもの、残すものを検討していく。廃棄できるものは前もって廃棄していく。
- 実態としてモノはあるが備品台帳に記載がないというケースがある。備品データは正式に登録されているもの。記載が無いものでも必要なモノであればリスト化することで考えている。
- まずはこの備品データ整備を年度内に完了させるよう考えている。そして、新年度に入ったところで、教務主任等の先生方に必要な備品を決定していただく流れ。現在のところ西古川小の備品を中心に考えていくことになっているが、備品を決める際には実際にその備品を見ていただく必要がある。それを6月～8月の期間内で日程を設定し実施していただく必要がある。西古川小の備品で足りないとなった場合は、より状態のいい備品を各校から出していただくことになる。
- 10月を目途にその一覧を作成し、令和4年中に移動する備品へのラベル貼付まで終わらせたい。
- 令和5年の1月～2月位までには授業もほぼ終わりに近づいてくると思うので、移動する備品をまとめ始める。
- そして2月～3月の引越しの日に運び、残す備品は1箇所に寄せておくというような形で進めていきたいと考えている。
- 1点確認だが、顕微鏡など備品は最大40セット（予備も含めて1クラス分）として考えていてよいか。  
⇒40セットとすることで部会員了解

◇藤島部会長（西中）

- 備品関係についてお話しいただいた。ご質問等あれば発言をおねがいする。

**(5) 保健関係について**

◆事務局説明内容＜資料5＞

- 資料5について、現時点での事務局案として説明した。

◇藤島部会長（西中）

- 協議事項は以上となる。長時間にわたる皆様のご協力に感謝する。

4 その他

○ピンクのファイルで令和3年度の閑上小中学校の教育計画を配付させていただきました。参考として後ほどご覧いただきたい。

○統合校の校名候補が決まり、次の段階として「校章」と「校歌」を募集する。関係書類を準備させていただいたのでお帰りの際にお持ちいただきたい。なお、今回、応募は自由となる。ご協力をお願いします。

5 閉 会